



市の動向を、タイムリーに掲載します

障害者の就労支援総合拠点「ワークアップさやま」が開所

8月25日(月)、市の委託事業として延べ653名の障害のある方の就労を支援した「狭山市障害者就労支援センター」と、社会福祉法人みのり福祉会が運営する就労福祉サービス事業を一体化した障害者の就労支援総合拠点「ワークアップさやま」が開所しました。



ワークアップさやまは「地域の就労のシンボル」として、利用者が自らの力で一歩を踏み出すことを目標に、それぞれの能力や働く力に応じた多様な職業生活の実現を目指します。また、労働力不足や介護人材不足といった課題にも貢献する役割を担っていく予定です。障害のある方々が就職を考えた時に、自然と足が向かう場所となるように一人一人のライフステージに寄り添った支援に取り組んでいきます。

問合せ 障がい者福祉課へ ☎2941-2679

ジャイカ

JICA留学生プログラム「水道分野中核人材育成」インターンシップ生を受け入れ

8月27・28日(水・木)の2日間、東洋大学大学院で水道分野を学ぶ留学生4名をインターンシップ生として受け入れました。留学生の国籍はタンザニア、マラウイ、ルワンダで、JICAの協力のもと実施しています。この実習では、市の水道事業の概要やメーターの維持管理などについて学び、工事現場や浄水場などの視察も行いました。将来、母国の水道事業を担う人材として、各国の発展に貢献することが期待されています。



問合せ 経営課へ ☎2968-6264

ふるさと納税事業者向けに説明会とワークショップを開催

8月27日(水)、市のふるさと納税の返礼品を提供する事業者向けに、説明会とワークショップを開催しました。ワークショップでは、人気の競合返礼品が「選ばれている」理由をワークシートを用いて分析し、自社返礼品と比較することで、より魅力を伝えられる表現などを検討しました。また、商品撮影やウェブページ作成のポイントなども学び、訴求力の向上を図りました。



問合せ 財政課へ ☎2935-6633



題字・絵 池原 昭治氏

市長の主な動き

○8/1…空き家対策協議会 ○8/2・3…狭山市入間川七夕まつり ○8/4…同和対策審議会、国民健康保険運営協議会 ○8/15…平和祈念講演会 ○8/20…定例庁議 ○8/21…第3回広域飯能斎場組合議会定例会 ○8/22…埼玉県男女共同参画審議会 ○8/27…定例記者会見 ○8/28…狭山市男女共同参画審議会

偉人の天命に触れて

論語に「五十にして天命を知る」とありますが、既に数年が過ぎてしまいました。未だ、その境地には至らず、修行ともいえる日々が続いています。以前、変化の激しい毎日に忙殺されていることを嘆いていると、とある方から「休日は休養と教養に充てなさい」と教えをいただきました。

七夕まつりの後に数日ばかりの夏休みをいただきました。早速、実践しようとしていたところ、江戸時代、実測による日本地図を完成させた伊能忠敬の人生に触れる機会がありました。千葉県香取市に記念館があると

知り、車を走らせました。青年期の忠敬が家業に専念し、地域に信頼を得ていったこと。50歳を過ぎて、天文学に打ち込み、その師は19歳も年下だったこと。55歳から測量の旅に出て、正確な日本地図を作ったこと。天命を得た彼の人生は日本人として持つべき教養であり、人生の道しるべにふさわしいものでした。

江戸時代に地球の大きさを図ろうとした忠敬のスケールの大きさと、国宝に指定されている伊能図のあまりの美しさに感動して、時を忘れ眺めていました。

狭山市長 小谷野 剛